

「救われたのは恵みによる」

2019年02月07日

エフェソの信徒への手紙 2章1節～6節 さて、あなたがたは、以前は自分の過ちと罪のために死んでいたのです。この世を支配する者、かの空中に勢力を持つ者、すなわち、不従順な者たちの内に今も働く霊に従い、過ちと罪を犯して歩んでいました。わたしたちも皆、こういう者たちの中にいて、以前は肉の欲望の赴くままに生活し、肉や心の欲するままに行動していたのであり、ほかの人々と同じように、生まれながら神の怒りを受けるべき者でした。しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、——あなたがたの救われたのは恵みによるのです——キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました

「著者」は主題を神から人間に移し、「さて、あなたがたは、以前は自分の過ちと罪のために死んでいたのです。この世を支配する者、かの空中に勢力を持つ者、すなわち、不従順な者たちの内に今も働く霊に従い、過ちと罪を犯して歩んでいました」と、キリストを知る以前と知ってからの違いについて言及している。キリストを知る以前は、虚しい空中に勢力を持つ、この世を支配する者、即ち、不従順な者たちの内に働く霊に従い、過ちと罪を犯して歩んでいた。不従順な者たちの中にいて、欲望の赴くままに生活し、肉や心の欲するままに生きていた。生まれながら神の怒りを受けるべき人間であった。「しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし」てくださった。神の怒りの下、罪に死んでいた私たちを、神は憐れみ、御子イエス・キリストの十字架の死によって罪を赦し、キリストの復活によって、共に生かし、死から命へと甦らせてくださった。

聖書が語る「死」は肉体の死だけではない。「命」も肉体がただ生きている状態をいうだけではない。ヨハネ黙示録3章1節bに、「わたしはあなたの行いを知っている。あなたが生きているとは名ばかりで、実は死んでいる」と、肉体的に生きていることが「生きている」ことにはならず、その行いによって、実質的には死んでいる者であると書いている。「著者」は、あなたがたはキリストを知る以前は、実は死んでいた。しかし、神は御子イエス・キリストの十字架の死によって、人の罪を赦し、キリストの復活によって、神の命を与え、新しい命へと招き入れてくださった。この救いを心に深く留めなさいと諭している。そして、「あなたがたの救われたのは恵みによるのです」と、救いは神の恵みによると力説している。恵みとは、人間の側の良し悪し、また、何をしたか、しなかったかに関わりなく、一方的に与えられたものという意味である。その恵みによって、キリストが十字架の死の中から復活させられたように、私たちをキリストと共に復活させ、生きる者にしてくださいました。更に、天に昇られたキリストが天の王座に着かれたように、私たちも共に天の王座に着かせてくださると約束をしてくださっている。

ローマ帝国内に生きていた外国人、寄留者たちは、生きることに必死で、他人を思いやる余裕などなく、欲望に突っ走っていたであろう。彼らが教会で、神の愛を知り、愛し合う仲間を見出した時、全く新しい世界を経験し、かつての生活との歴然とした違いを知り、喜び、感謝したに違いない。今も同じことが教会で起こっている。私の場合、生きることの虚しさから、キリストの十字架と復活の中に、神の「生の是認宣言」を聞き、神に根拠を置く私への生まれ変わりとなった。